

経営導入演習

担当者： 紫関 正博

テーマ： 貸借対照表、損益計算書の構造と企業の安全性・収益性に関する分析手法を学ぶ。

【授業の方法】 主に、講義形式 連絡先・オフィスアワー：512 研究室。オフィスアワーの日は、初回の授業で提示する。

【到達目標】

貸借対照表、損益計算書の各項目と各種の利益に着目し、企業の財務情報を読み解く上で必要な分析手法の基礎を習得する。

【演習概要】

(1) 財務諸表の種類と勘定式・報告式の貸借対照表と損益計算書の表示方法を学ぶ。

貸借対照表、損益計算書上の用語と金額を理解する。

(2) 会計上の利益とキャッシュ・フローの関係を学ぶ。

企業の安全性・収益性の分析に必要な分析手法の基礎を学ぶ。

(3) 課題演習を通じて、上記(1)と(2)の学習に対する理解を深める。

【進め方】

主として、講義形式で進める。その他に、課題演習として、企業の財務情報に関する資料を考察する。

第1回目：貸借対照表、損益計算書の構造を学ぶ。また、これらに関する小課題の演習に取り組み、まとめを行う。

第2回目：キャッシュ・フロー、企業の安全性と収益性に関する分析手法の基礎を学ぶ。また、これらに関する小課題の演習に取り組み、分析手法を習得する。

第3回目：第1回目と第2回目の学習を活かし、企業の財務情報に関するレポート課題の演習を通じて、学習したことの基礎を定着する。

【テキスト・参考文献】 教員が用意した配布資料を使用する。

【評価基準・方法】

評価は、授業内に行う小課題（3回）とレポート課題（1回）による。

評価の詳細は、各クラスの初回の授業で説明する。

【実務経歴】

該当なし。